

「解けない」を「解ける」に変える春です！ 春期講習会のお誘い…

## ”弱点”をなくすることの重要性 – 学力が上がらない見えない原因 –

### ①「定期テスト」で高い点数を取るために

数学では、いままで習ったことを使って新しいことを学びます。

例えば、数Ⅱの三角関数は数Ⅰの三角比を使って問題を解きます。方程式や関数の式変形は等式の性質を使って解きます。数Ⅱや数Ⅲの微分・積分で、 $\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ などを含む問題は、数Ⅱで学んだ三角関数を正確に理解していないと解けません。だから、弱点があると、それを使って学習する新しい単元の学習が困難になります。

そして、それをほっておくか、あるいはよくわかっていないことに気づかないでいると、次から次へとわからなくなり、気づいたときには、”29点”ということになってしまいます。

「定期テスト」で高い点数をとる力をつけるためには、いま授業で勉強しているのとは別に、その前に学習した単元の中で弱点があるかないかを点検し、もし、弱点が見つかったらただちに、それを克服する学習を学校の授業と並行して始めなければなりません。弱点というのは、学校の授業を受けたり、課題や問題集を学習していれば、ふつう、自分でわかります。あるいは、今までの学校のテストや校外模試を分析するならば、いつも点を落としている単元や節を見つけることができます。それらは、即、復習すべき”弱点”です。小学算数、中学数学、高校数学のすべてに言えることです。

### ②模試や実力テストで点を伸ばすために

いわゆる「定期テスト」とは違って“範囲のない”テストでは弱点のある単元というのは、確実に点を落とします。

「定期テストではいい点をとっているのに…」という声をよく聞きますが、要するに、「実力」が身につけていないのです。単に、解法の暗記だけでテストに臨んできた結果ともいえます。

模試や実力テストの結果を分析することで、弱点をチェックできます。これまで受けた模試や実力テストの結果を見返し、弱点をチェックし、直ちに弱点対策をとりましょう。そうすれば、次の模試や実力テストでは、今まで点が取れなかった単元で、うそのように高い点数が取れるようになります。

## 一人では”弱点”を克服できない3つの理由

解けない問題があったら復習して解けるようにすればいいだけなのですが、これが一人ではなかなか思い通りにはできないのです。なぜならば…

### ①時間がない

弱点を克服しなければならないのはだれでもわかります。

しかし、ふだんは家で復習時間をとる余裕などありません。現代の生徒は超忙しいのです。

### ②教材がない

例え復習する時間があったとしても、どんな教材を使って復習したらいいかわかりません。

自分の弱点を補強するには、どの参考書のどの部分を復習すればいいのかが分からないのです。

参考書のタイトルを見て、それらしいところを勉強してある問題の解法を学んだとしましょう。

それだけでは、「その解法」は使えるようになりませんし、応用することもできません。そのためには、「その解法」を使って解ける問題をいっぱい解いて、基礎力、応用力を身につけなければなりません。

そのためには、「その解法」を使って解ける練習問題が必要ですが、そんなものがついている市販参考書など1冊も売っていません。例題の後に類題というのがありますが、多くの場合、例題とは違った考え方で解かなければならない問題になっています。

### ③わからない

参考書を見てその問題の解き方の説明を見ただけでその解き方を理解できれば、それはそれでよしとしましょう。しかし、その説明が理解できないのが普通です。苦手なわけですから、省略の多いおざなりな参考書の解説を読んでも、書かれている問題の解き方が理解できないのです。

## どうする？ – ”弱点”克服の最適解 = 個人指導塾 –

### 「①時間がない」の解決策 数専ゼミの場合

塾にかよってれば、毎週90分とか180分など、確実に復習の時間がとれます。

### 「②教材がない」の解決策 数専ゼミの場合

数専ゼミで、弱点をピンポイントで復習できる教材や問題を準備してくれますし、定着するための練習問題や応用するため

のハイレベルの問題を多数用意してくれます。だから、1つの単元について、基礎から入試問題まで、納得いく学力を習得できるまで十分な練習ができます。

次のステップで、レベルアップしながら問題を解いていくことで、弱点を”得点源”に変えていきます。

★解法の技術★	「問題の解き方」を学習します。例題です。最も広い応用力のある考え方を覚えます。
★理解のチェック★	「例題の解き方」が使えるかどうかをチェックする問題を解きます。わかったつもりではダメです。
★演習★【】	「例題の解き方」をいろいろな問題で使ってみます。「解き方」を”事実”として定着します。
☆発展演習☆【】	例題に新しい条件が加わったり、他の単元と融合した問題を解きます。応用する力をつけます。
☆入試問題研究☆	その単元の入試問題（高校入試、共通テストや2次試験(山形大)を解きます。ここが最終目標です。

\*数専ゼミで学習する教材については、数専ゼミのホームページで、その実物を見ることができます。

### 「③わからない」の解決策 数専ゼミの場合

授業時間中、先生は個々の生徒の目の前に待機してくれていますので、教材の説明で分からない部分があったり、解けない問題があったときには、すぐ教えてもらえます。

何もいわなくても、プリントを白紙で先生に提出すれば、先生は”わからない”ものと判断し、直ちに教えてくれます。

## 数専ゼミで教えてもらえることは…

いつでも、どの単元でも、さらに細かな内容を指定して、指導を受けることができます。

例えば、数学Aの「確率」という単元の中の「条件付き確率」を学習したい、あるいは、中2数学の「1次関数の動点問題」を学習したい、あるいは、小5算数の「割合」や「速さ」の問題を学習したい、などなど…

## 学校の定期テスト対策の勉強はどうする？

学校の定期テスト対策の勉強は、学校の授業と家で、自分でできます（学校の授業で習っているのですから…）。

理解できないところや解けない問題は、学校の先生や友だちに教えてもらうのが基本です。

”学校で勉強していること”を塾の授業時間内で教えてもらうなどは、時間とお金の無駄です。（2度、同じことを習うことになるからです。）

先生や友だちに教えてもらえないときに限って、塾に教えてもらうことができればいいのです。だから…

**数専ゼミでは**、”学校で勉強している内容”についての質問は、メールやFAXを使って、塾の時間外で、無料で教えます。

詳しくは⇒ Link: | suusenn.com | → Special\_Menu **FAX・スマホを使った質問指導** (トップページの下の方にあります)

## 弱点をつぶすと、こうなる！ - 数専ゼミの合格実績 -

数専ゼミで学習指導を受けた人達の進学先の紹介です。（数専ゼミで3年間以上の指導を受けた人だけです。）

- ・令和2年 山形東(探究科) 4名合格 (中3生5名中の4名)
- ・超ハイレベル高校 澁谷幕張高等学校, 国際基督教大学高等学校 (2名)
- ・大学入試 令和5年度 自治医大(医学科), 令和4年度 昭和大(歯学部),  
平成31年度 東北大医学部(放射線技術科学)
- その他に、東北大(文学部, 工学部, 経済学部), 山形大(医学部) などなど



suusenn.com

## 実際に弱点をつぶしてみてください(体験授業のお誘い)!

↑  
春期講習会のご案内

### ①実物教材の紹介 数専ゼミの場合

成果をあげた人達が、数専ゼミで実際に学習してきた実物教材を数専ゼミのホームページ上でご覧になれます。

### ②無料体験学習 数専ゼミの場合

まず、無料体験学習からどうぞ。個人情報はいっさいお聞きしません。

体験学習をしてみて、こんな勉強を続けてみたいと思ったら入塾して下さい。

お電話でお申込下さい。日程と学習内容を調整します。

### ③他塾に在籍している場合

他の塾に在籍していても、「数学」だけ数専ゼミで習うこともできます。

# 数専ゼミ

山形市東原町二丁目10-8

(洋服の「サンエー」様前十字路を西へ80m)

TEL 633-1086